

シラバス〔道徳〕

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----------------------|-----------|----|----|-----|
| 中学1年 | グローバル選抜探究 | 道徳 | 道徳 | 1 |
| 教科書・教材 | | | | |
| 『中学道徳 あすを生きる1』日本文教出版 | | | | |

| 授業のねらい（年間指導目標） | |
|---|---|
| <p>生徒一人ひとりが、道徳的な課題に対して受け身ではなく主体的に向き合い、対話や議論を通じて、自分の考えを伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ、深めながら、道徳性を高める。</p> <p>LCを取り入れ、生徒同士の対話を通して道徳的価値を多面的に考える。安心して意見を交流できる環境の中で、他者理解と自己理解を深め、よりよい生き方を主体的に考える力を育成する。</p> | |
| 授業の進め方（年間指導計画） | |
| 1学期 | ～「いじめ」と向き合う①～ 「近くにいた友」、「さかなのなみだ」 |
| | ～よりよい社会と私たち①～ 「違いを乗り越えて」、「あふれる愛」 |
| 2学期 | ～よりよい社会と私たち②～ 「疾走、自転車ライダー」、「部活の帰り」 |
| | 「富士山から変えていく」、「木の声を聞く」 |
| 3学期 | ～「いじめ」と向き合う②～ 「旗」、「自分だけ「余り」になってしまう・・・」 |
| 評価方法 | |
| <p>数値や評定による評価ではなく、生徒の学習状況や成長の様子を、成績通知表等に文章で記述する形で行う。（学習指導要領）</p> <p>各学習活動において、発言や話合いの様子、作文・ノート・振り返りシート等の記述内容を通して、道徳的価値についての理解を深め、自己の生き方についての考えを深めている状況を総合的に評価する。特に、次の観点を重視する。</p> <p>① 道徳的価値について、多面的・多角的に考えようとしているか。</p> <p>② 自己を見つめ、自らの生き方について考えを深めようとしているか。</p> | |

| 備考 |
|---|
| <p>生徒同士が対話を通して学び合う LC の考え方を取り入れ、道徳的価値について多面的・多角的に考える力を育成する。他者の意見に耳を傾け、自分の考えを言葉で表現する活動を重視し、安心して発言できる学習環境の中で、互いに認め合いながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループでの協働的な学びを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよく生きるための判断力・実践力の基礎を養うことを目指す。</p> |

シラバス〔道徳〕

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----------------------|------|----|----|-----|
| 中学1年 | 未来探究 | 道徳 | 道徳 | 1 |
| 教科書・教材 | | | | |
| 『中学道徳 あすを生きる1』日本文教出版 | | | | |

| 授業のねらい（年間指導目標） | |
|--|--|
| <p>生徒一人ひとりが、道徳的な課題に対して受け身ではなく主体的に向き合い、対話や議論を通じて、自分の考えを伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ、深めながら、道徳性を高める。</p> <p>LCを取り入れ、生徒同士の対話を通して道徳的価値を多面的に考える。安心して意見を交流できる環境の中で、他者理解と自己理解を深め、よりよい生き方を主体的に考える力を育成する。</p> | |
| 授業の進め方（年間指導計画） | |
| 1学期 | <p>～「いじめ」と向き合う①～ 「近くにいた友」、「さかなのなみだ」</p> <p>～国際理解～ 「違いを乗り越えて」、「あふれる愛」</p> |
| 2学期 | <p>～安全に生きる～ 「疾走、自転車ライダー」、「部活の帰り」</p> <p>～環境～ 「富士山から変えていく」、「木の声を聞く」</p> |
| 3学期 | <p>～「いじめ」と向き合う②～ 「旗」、「自分だけ「余り」になってしまう・・・」</p> |
| 評価方法 | |
| <p>数値や評定による評価ではなく、生徒の学習状況や成長の様子を、成績通知表等に文章で記述する形で行う。（学習指導要領）</p> <p>各学習活動において、発言や話し合いの様子、作文・ノート・振り返り等の記述内容を通して、道徳的価値についての理解を深め、自己の生き方についての考えを深めている状況を総合的に評価する。特に、次の観点を重視する。</p> <p>① 道徳的価値について、多面的・多角的に考えようとしているか。</p> <p>② 自己を見つめ、自らの生活や生き方について考えを深めようとしているか。</p> | |

| 備考 |
|---|
| <p>生徒同士が対話を通して学び合うLCの考え方を取り入れ、道徳的価値について多面的・多角的に考える力を育成する。他者の意見に耳を傾け、自分の考えを言葉で表現する活動を重視し、安心して発言できる学習環境の中で、互いに認め合いながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループでの協働的な学びを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよく生きるための判断力・実践力の基礎を養うことを目指す。</p> |

シラバス〔道徳〕

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----------------------|-----------|----|----|-----|
| 中学2年 | グローバル選抜探究 | 道徳 | 道徳 | 1 |
| 教科書・教材 | | | | |
| 『中学道徳 あすを生きる2』日本文教出版 | | | | |

| 授業のねらい（年間指導目標） | |
|---|---|
| <p>生徒一人ひとりが、道徳的な課題に対して受け身ではなく主体的に向き合い、対話や議論を通じて、自分の考えを伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ、深めながら、道徳性を高める。</p> <p>LCを取り入れ、生徒同士の対話を通して道徳的価値を多面的に考える。安心して意見を交流できる環境の中で、他者理解と自己理解を深め、よりよい生き方を主体的に考える力を育成する。</p> | |
| 授業の進め方（年間指導計画） | |
| 1学期 | <p>～集団生活と私たち～</p> <p>「挨拶は言葉のスキンシップ」、「自分の弱さと戦え」、「ハイタッチがくれたもの」</p> <p>～本当の友だちとは～</p> <p>「五月の風 -カナ-」、「五月の風 -ミカ-」、「自分ってなんだろう」</p> |
| 2学期 | <p>～人との関わり方～</p> <p>「名乗り出なかった友」、「ヨシト」、「ネット将棋」</p> <p>～尊い生命と個性を見つめて～</p> <p>「最後のパートナー」、「リスペクト アザース」、「きいちゃん」</p> |
| 3学期 | <p>～地域社会への貢献と将来について考える～</p> <p>「避難所にて」、「おばちゃんのくれた”おまじない”」、「体験ナースをとおして」</p> |
| 評価方法 | |
| <p>数値や評定による評価ではなく、生徒の学習状況や成長の様子を、成績通知表等に文章で記述する形で行う。（学習指導要領）</p> <p>各学習活動において、発言や話合いの様子、作文・ノート・振り返り等の記述内容を通して、道徳的価値についての理解を深め、自己の生き方についての考えを深めている状況を総合的に評価する。特に、次の観点を重視する。</p> <p>① 道徳的価値について、多面的・多角的に考えようとしているか。</p> <p>② 自己を見つめ、自らの生活や生き方について考えを深めようとしているか。</p> | |

| 備考 |
|---|
| <p>生徒同士が対話を通して学び合うLCの考え方を取り入れ、道徳的価値について多面的・多角的に考える力を育成する。他者の意見に耳を傾け、自分の考えを言葉で表現する活動を重視し、安心して発言できる学習環境の中で、互いに認め合いながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループでの協働的な学びを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよく生きるための判断力・実践力の基礎を養うことを目指す。</p> |

シラバス〔道徳〕

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----------------------|------|----|----|-----|
| 中学2年 | 未来探究 | 道徳 | 道徳 | 1 |
| 教科書・教材 | | | | |
| 『中学道徳 あすを生きる2』日本文教出版 | | | | |

| 授業のねらい（年間指導目標） | |
|---|---|
| <p>生徒一人ひとりが、道徳的な課題に対して受け身ではなく主体的に向き合い、対話や議論を通じて、自分の考えを伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ、深めながら、道徳性を高める。</p> <p>LCを取り入れ、生徒同士の対話を通して道徳的価値を多面的に考える。安心して意見を交流できる環境の中で、他者理解と自己理解を深め、よりよい生き方を主体的に考える力を育成する。</p> | |
| 授業の進め方（年間指導計画） | |
| 1学期 | <p>～集団生活と私たち～ 「挨拶は言葉のスキンシップ」、「自分の弱さと戦え」、「ハイタッチがくれたもの」</p> <p>～本当の友だちとは～ 「五月の風 -カナ-」、「五月の風 -ミカ-」、「自分ってなんだろう」</p> |
| 2学期 | <p>～人との関わり方～ 「名乗り出なかった友」、「ヨシト」、「ネット将棋」</p> <p>～尊い生命と個性を見つめて～ 「最後のパートナー」、「リスペクト アザース」、「きいちゃん」</p> |
| 3学期 | <p>～地域社会への貢献と将来について考える～ 「避難所にて」、「おばちゃんのくれた”おまじない”」、「体験ナースをとおして」</p> |
| 評価方法 | |
| <p>数値や評定による評価ではなく、生徒の学習状況や成長の様子を、成績通知表等に文章で記述する形で行う。（学習指導要領）</p> <p>各学習活動において、発言や話合いの様子、作文・ノート・振り返り等の記述内容を通して、道徳的価値についての理解を深め、自己の生き方についての考えを深めている状況を総合的に評価する。特に、次の観点を重視する。</p> <p>① 道徳的価値について、多面的・多角的に考えようとしているか。</p> <p>② 自己を見つめ、自らの生活や生き方について考えを深めようとしているか。</p> | |

| 備 考 |
|---|
| <p>生徒同士が対話を通して学び合う LC の考え方を取り入れ、道徳的価値について多面的・多角的に考える力を育成する。他者の意見に耳を傾け、自分の考えを言葉で表現する活動を重視し、安心して発言できる学習環境の中で、互いに認め合いながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループでの協働的な学びを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよく生きるための判断力・実践力の基礎を養うことを目指す。</p> |

シラバス〔道徳〕

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----------------------|-----------|----|----|-----|
| 中学3年 | グローバル選抜探究 | 道徳 | 道徳 | 1 |
| 教科書・教材 | | | | |
| 『中学道徳 あすを生きる3』日本文教出版 | | | | |

| 授業のねらい（年間指導目標） | |
|---|---|
| <p>生徒一人ひとりが、道徳的な課題に対して受け身ではなく主体的に向き合い、対話や議論を通じて、自分の考えを伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ、深めながら、道徳性を高める。</p> <p>LCを取り入れ、生徒同士の対話を通して道徳的価値を多面的に考える。安心して意見を交流できる環境の中で、他者理解と自己理解を深め、よりよい生き方を主体的に考える力を育成する。</p> | |
| 授業の進め方（年間指導計画） | |
| 1学期 | <p>～「いじめ」と向き合う①～ 「銀メダルから得たもの」、「違うんだよ、健司」</p> <p>～よりよい社会と私たち①～ 「あるレジ打ちの女性」、「『稲むらの火』余話」</p> |
| 2学期 | <p>～「いじめ」と向き合う②～ 「言葉の向こうに」、「二通の手紙」</p> <p>～よりよい社会と私たち②～ 「電車の中で」、「臓器ドナー」</p> |
| 3学期 | <p>～よりよい社会と私たち③～ 「本とペンで世界を変えよう」、「町内会デビュー」</p> |
| 評価方法 | |
| <p>数値や評定による評価ではなく、生徒の学習状況や成長の様子を、成績通知表等に文章で記述する形で行う。（学習指導要領）</p> <p>各学習活動において、発言や話合いの様子、作文・ノート・振り返り等の記述内容を通して、道徳的価値についての理解を深め、自己の生き方についての考えを深めている状況を総合的に評価する。特に、次の観点を重視する。</p> <p>① 道徳的価値について、多面的・多角的に考えようとしているか。</p> <p>② 自己を見つめ、自らの生活や生き方について考えを深めようとしているか。</p> | |

| 備 考 |
|---|
| <p>生徒同士が対話を通して学び合う LC の考え方を取り入れ、道徳的価値について多面的・多角的に考える力を育成する。他者の意見に耳を傾け、自分の考えを言葉で表現する活動を重視し、安心して発言できる学習環境の中で、互いに認め合いながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループでの協働的な学びを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよく生きるための判断力・実践力の基礎を養うことを目指す。</p> |

シラバス〔道徳〕

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----------------------|------|----|----|-----|
| 中学3年 | 未来探究 | 道徳 | 道徳 | 1 |
| 教科書・教材 | | | | |
| 『中学道徳 あすを生きる3』日本文教出版 | | | | |

| 授業のねらい（年間指導目標） | |
|---|---|
| <p>生徒一人ひとりが、道徳的な課題に対して受け身ではなく主体的に向き合い、対話や議論を通じて、自分の考えを伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ、深めながら、道徳性を高める。</p> <p>LCを取り入れ、生徒同士の対話を通して道徳的価値を多面的に考える。安心して意見を交流できる環境の中で、他者理解と自己理解を深め、よりよい生き方を主体的に考える力を育成する。</p> | |
| 授業の進め方（年間指導計画） | |
| 1学期 | ～「いじめ」と向き合う①～ 「銀メダルから得たもの」、「違うんだよ、健司」 |
| | ～よりよい社会と私たち①～ 「あるレジ打ちの女性」、「『稲むらの火』余話」 |
| 2学期 | ～「いじめ」と向き合う②～ 「言葉の向こうに」、「二通の手紙」 |
| | ～よりよい社会と私たち②～ 「電車の中で」、「臓器ドナー」 |
| 3学期 | ～よりよい社会と私たち③～ 「本とペンで世界を変えよう」、「町内会デビュー」 |
| 評価方法 | |
| <p>数値や評定による評価ではなく、生徒の学習状況や成長の様子を、成績通知表等に文章で記述する形で行う。（学習指導要領）</p> <p>各学習活動において、発言や話合いの様子、作文・ノート・振り返り等の記述内容を通して、道徳的価値についての理解を深め、自己の生き方についての考えを深めている状況を総合的に評価する。特に、次の観点を重視する。</p> <p>① 道徳的価値について、多面的・多角的に考えようとしているか。</p> <p>② 自己を見つめ、自らの生活や生き方について考えを深めようとしているか。</p> | |

| 備考 |
|---|
| <p>生徒同士が対話を通して学び合うLCの考え方を取り入れ、道徳的価値について多面的・多角的に考える力を育成する。他者の意見に耳を傾け、自分の考えを言葉で表現する活動を重視し、安心して発言できる学習環境の中で、互いに認め合いながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループでの協働的な学びを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよく生きるための判断力・実践力の基礎を養うことを目指す。</p> |